



R7. 委託業務 第12回科学技術予測調査アウトリーチのための関連調査 及びウェブコンテンツ作成

2025年9月26日

■ 目的：

- ◆ 科学技術が未来社会にもたらす様々なインパクトを踏まえた上で、20～30年後の将来社会の在り方について検討する

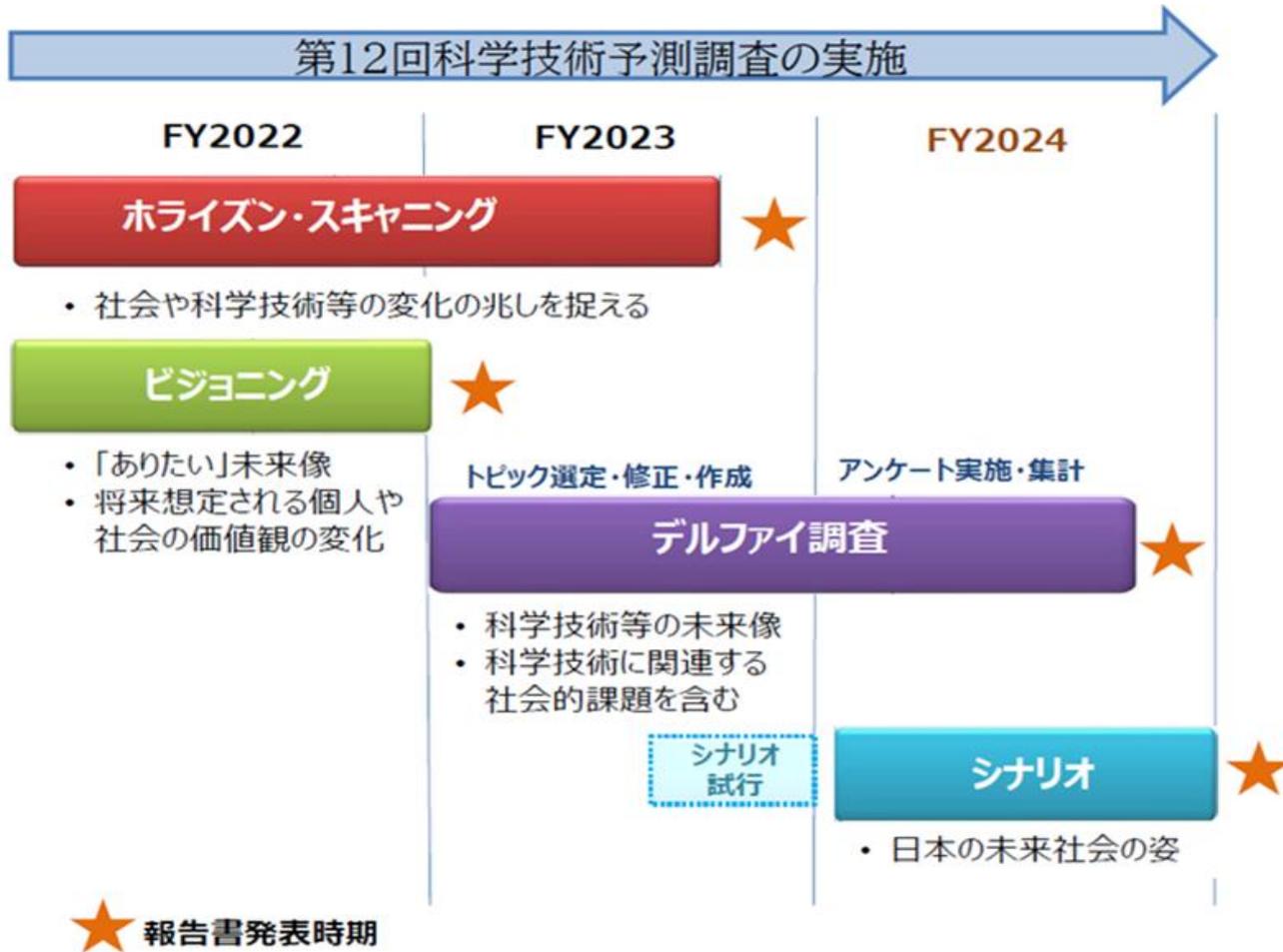
■ 活用想定：

- ◆ 科学技術イノベーション政策や分野別戦略などの政策立案に資する基礎資料を提供
- ◆ 政策当局、資金配分機関、シンクタンク、アカデミア、産業界、市民などの多様なステークホルダーが我が国の未来像を議論し、未来を見据えた研究開発目標やアクションを検討する際の参考資料としての活用



第12回科学技術予測調査の枠組・目的

社会と科学技術との関係性に複雑化・複合化の割合が増している近年の世界的な状況を踏まえて、ありたい未来社会の姿や、社会的な視点や分野横断的な観点を取り入れた科学技術等の未来についての調査を行い、結果を統合して日本の未来社会を描く。



(注) 科学技術予測調査の対象は、自然科学及び関連する科学技術に加えて、人文・社会科学のみに係る科学技術や、人文・社会科学と自然科学との融合による新たな知や価値観等も含む。

◆ ホライズン・スキャンニング（2022-2023）

国内外の社会や科学技術のトレンド・兆しの把握

- ◆ 注目科学技術調査（2023年調査：注目**652件**、兆し**183件**）
※ NISTEP専門家ネットワーク（約1670名）のうち**655名**が回答
- ◆ 政策課題調査（白書等分析）等

◆ ビジョンング（2022）

価値観を重視した個人・社会の未来に対する願望を可視化

- ◆ **若者世代**を中心とした多様な人々の参加によるワークショップ・市民調査・ビジョナリー調査等（延べ**260名**程度が参加）
- ◆ **6ビジョン**（24下位ビジョン）：包摂性・多様性・利他、安全・安心・生活の質、地域性・文化・歴史観、挑戦・遊び、自律性・民主化・地球共生、社会変革・社会更新

◆ デルファイ調査（2023-2024秋）

専門家による将来実現が期待される科学技術や社会変化等の検討

- ◆ 8分野（健康・医療・生命科学、農林水産・食品・バイオテクノロジー、環境・資源・エネルギー、AI・ICT・アナリティクス・サービス、マテリアル・デバイス・プロセス、都市・建築・土木・交通、宇宙・海洋・地球・科学基盤、横断的社会課題(人文社会科学含む)）
- ◆ 全**836トピック**に対して、重要度、国際優位性、実現時期、実現に向けて対処すべきこと等を**専門家**に質問【ウェブアンケート】
- ◆ **4,761名**の産学官の専門家が2回の調査に参加

シナリオ（2024年度後半）

日本が目指すべき未来像やその実現のための道筋

- ◆ ワークショップ等により**複数の未来シナリオ**を作成
 - ◆ **研究・政策・産業**の観点（46名）
 - ◆ **若者世代を中心とした市民**の観点（約40名）
 - ◆ 有識者インタビュー 等